書塾の仲間たち

第 208 回

弥生會（埼玉県入間郡毛呂山町）

●書塾からひとこと●

弥生會は、他の競書誌から日本武道館の「書写書道」に移籍しました。まだ一年にもなりませんが、武道館の依頼を受け、このたび紹介していただくことになりました。

思い起こせば四十数年、私も七十七歳まで、元気に教室で生徒さんと筆を持って書を学ぶことができています。これも偏に生徒さんからいつも元気をいただいているからです。

生まれつき身体の弱い私でしたが、書によって随分丈夫になりました。小学一年から書塾に通って立派に成人となり、今ではお子様を育てられている生徒さんから「先生、随分丈夫になられましたね。先生の書は、見て見て！私元気でしょ！と叫んでいるみたいだもの」とよく言われます。

「書写書道」に移籍して五カ月が経った頃、テレビで新型コロナウイルスのニュースばかり流れるようになりました。学校も休校になり、書塾も開けなくなったため、生徒さんにも会えなくなりました。しかし、世の中も便利になり、スマホで近況を知ることができ、ありがたいことに皆、元気で過ごしている様でした。

一方、学校では卒業式を個別で行うなど、一生に一度の思い出もこの様な寂しい形で過ごさなければならない状況があります。それでも皆で頑張っていけば、必ず今の経験が書にも表れて、これまでの書とは違った、味わい深い文字が書けることと思っております。

私たちは二年に一度「弥生展」という社中展を開き、今まで書いてきた好きな文字をお手本なしで書き、それぞれの成果を発表しています。そして、十二月にはクリスマス会を開き、生徒さんの手作りメニューで祝い、親睦を深めております。

これからも「書写書道」の一員として、生徒さんと一緒に頑張っていけたらと思うこの頃です。

埼玉県入間郡毛呂山町
弥生會
中村　歌扇

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

私の好きな書道

大田区立大森第四小学校五年　中井（なかい）　美侑（みゆ）

私は、小学三年生の時に、こう筆を習い始めました。こう筆を始めた理由は、字をきれいに書けるようになりたかったからです。

当時は、水泳と英会話を習っていたので、お母さんに「できるの？」と聞かれました。私が、「できる」と答えたら、近くの書道教室の体験に連れて行ってくれました。

その時は、あまりきれいに書けなくて、もっときれいに書きたいと思って、書道を始めることにしました。

始めたばかりの頃は、うまく書けませんでしたが、先生から分かりやすく教えていただいたので、少しずつきれいに書けるようになりました。

しばらくして、毛筆も始めました。毛筆は、筆を使って書くので、最初はむずかしかったけれど、だんだん書いていくうちにきれいに書けるようになり、その時は、うれしかったです。

小学五年生になり、今はもっとむずかしい字や漢字を教えていただいています。

五年生になると画数が多い字を書くので、一画一画に気をつけながら、ていねいに書くようにしています。

私は書道が好きなので、これからも続けたいと思います。

私と書写書道

継続することが未来に役立つこと

広島県熊野町立熊野第二小学校六年　村井（むらい）　功武（いさむ）

保育園の年中の時、友達がおけい古カバンを持って歩いている姿に、何をしているのかなと興味を持ち、たずねたのが書道を知ったきっかけでした。自分から通いたいと思い、両親へお願いして書道を始めました。

幼児の時に、くり返し習った平仮名やカタカナ。先生のオリジナルカラーのプリントや、宿題として出される8マスノートで沢山練習しました。きれいに書けた時には沢山ほめてもらい、おけい古ノートにごほうびシールがたまっていくのが、とてもうれしかったです。

小学校にあがると、それまでの書道のおけい古のおかげで、書くことに慣れていたので、他の教科でも読む力や書く力となり、学校の学習がとても進みやすかったです。また、小学一年生から、硬筆だけでなく毛筆も習い始めました。

ぼくは左利きなので、字の書き始めの筆の入れ方に苦労しました。先生から、筆は右手で書くことをすすめられ、毛筆はずっと右手を使って書いています。書道で心がけていることは、先生に一度注意やアドバイスを受けた所は、メモして次に生かせるようにしていることです。

高学年になるにつれ、難しい字にも挑戦しています。集中してキレイに書けた時は、とってもうれしく楽しい気持ちになります。

ぼくは、書道を習い始めてもうすぐ八年になります。学校の勉強などでつかれて、思うような字が書けない時は、もう書きたくないと思うこともあるけれど、自分からやりたいと習い始めた書道なので、自分の弱い心に負けないよう、がんばって続けてきました。

日常生活では、字を書くことが多いです。家族が書く字を見ると、その字のポイントが気になっている自分がいます。

これからも字を書く時には、おけい古で書いているようなていねいな字が、ふだんから自然と書けるように気をつけていきたいです。